



A SUSTAINABLE MOBILITY TECHNOLOGY LEADER

2024年度 会社案内

FORVIA
Inspiring mobility

私たちのミッション

WE PIONEER
TECHNOLOGY
FOR MOBILITY
EXPERIENCES

THAT MATTER
TO PEOPLE

人々にとって大切なモビリティエクスペリエンスを
実現する技術を先駆的に開発する

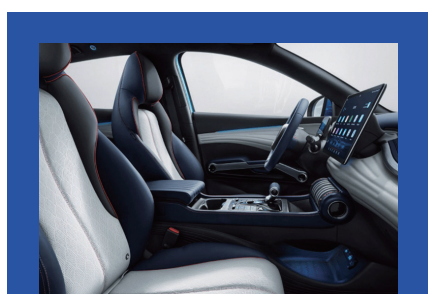


フォルヴィアグループ概況

自動車技術におけるグローバルリーダー



包括的なポートフォリオ：6つのグローバルなビジネスグループ



シーティング

- > シート構造
- > コンプリートシート

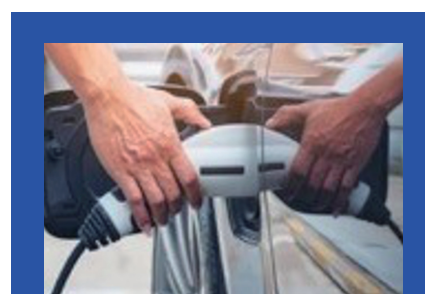
47,000+ 従業員



インテリア

- > インストルメントパネル
- > ドアパネル
- > センターコンソール
- > サステイナブル素材
- > サーフェスアクティベーション

33,000+ 従業員



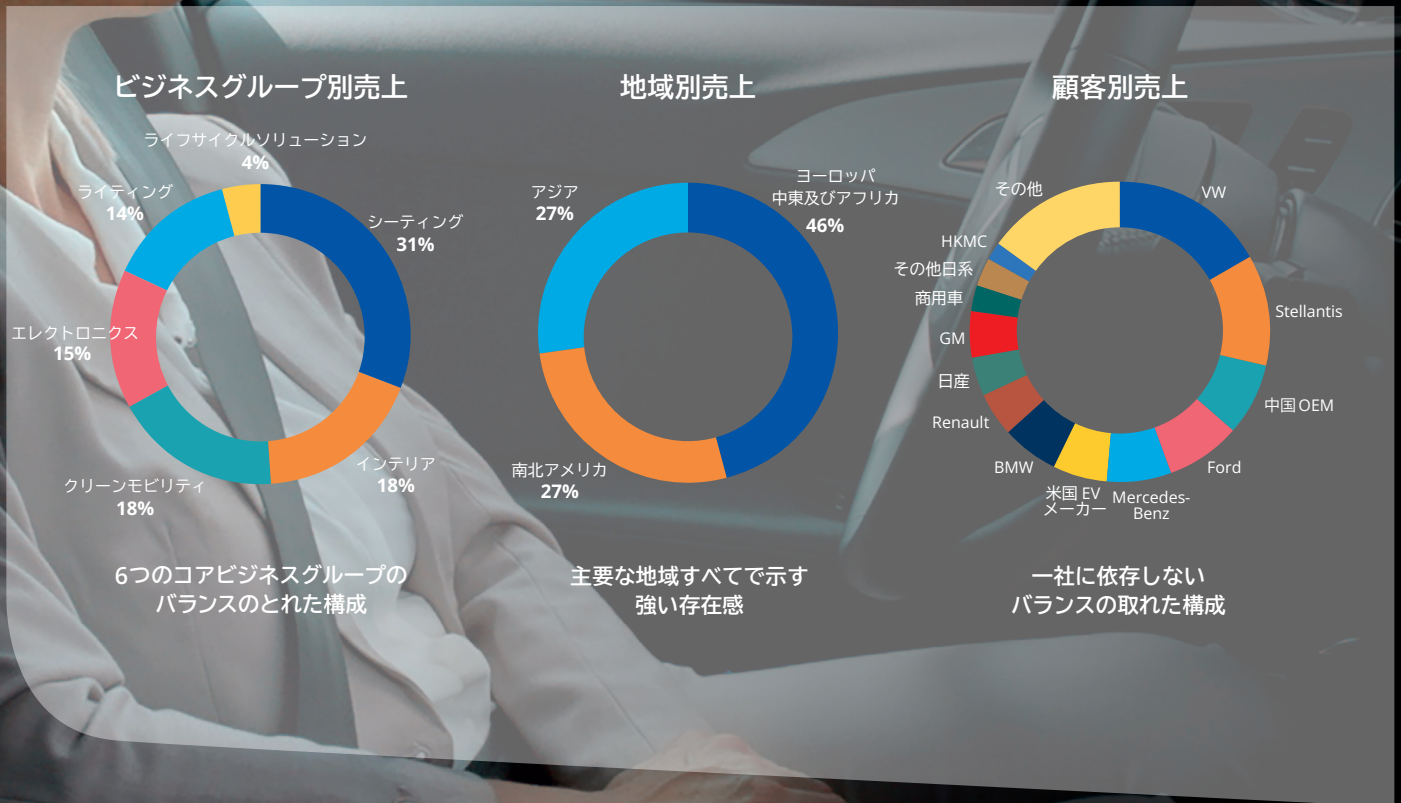
クリーンモビリティ

- > 乗用車・商用車向け超低
エミッションソリューション
- > モビリティ、エネルギー貯蔵、
輸送のためのゼロエミッション水素
ソリューション

19,000+ 従業員

* クラリオンエレクトロニクスのコマースソリューションを含む
全て2023年12月31日付の数値

フォルヴィアのバランスのとれた売上構成 (2023年)



エレクトロニクス

- > センサー及びアクチュエーター
- > 自動運転
- > ライティング及び車体エレクトロニクス
- > エネルギーマネジメント
- > コックピットエレクトロニクス
- > コックピットエクスペリエンス

6,000+ / 14,000+
従業員

ライティング

- > ヘッドライト
- > リアランプ
- > 室内照明
- > エクステリアランプ

22,000+ 従業員

ライフサイクルソリューション

- > 独立系アフターマーケット*
- > ワークショップソリューション
- > OEM

5,000+ 従業員

日本におけるフォルヴィア

フォルシア・ジャパンは2005年に設立され、現在は横浜市と厚木市に拠点を置き、シーティング、インテリア、クリーンモビリティの3事業部を柱に、先進のテクノロジーをさまざまな自動車メーカーへ提供しています。

2019年3月にフォルシアグループは、車載分野において80年の歴史を持つクラリオンを統合し、4つ目の事業部となるフォルシアクラリオン・エレクトロニクスを新設しました。

さらに2022年2月にフォルシアがドイツのヘラー社を統合し、フォルヴィア (FORVIA) グループを設立しました。

これにより日本のフォルヴィアグループは、現在、フォルシア・ジャパン、フォルシアクラリオン・エレクトロニクス、クラリオンライフサイクルソリューションズ、FSVAP Japan、ヘラージャパンの5個社から成ります。

FORVIA

Inspiring mobility

FORVIA
faurecia

フォルシア・ジャパン株式会社

フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社

クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
FSVAP Japan 株式会社

FORVIA
HELLA

ヘラージャパン株式会社



FORVIA

·faurecia

① フォルシア・ジャパン株式会社
本社・R&Dセンター

インテリア
シーティング
クリーンモビリティ

② 厚木カスタマーオフィス

③ 郡山工場
(クリーンモビリティ)

④ フォルシア・ニッパツ株式会社

⑤ フォルシア豊和インテリア株式会社

⑥ フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社
本社・技術センター

エレクトロニクス

③ 東北事業所

⑦ 浜松営業所

⑧ 名古屋営業所

⑥ クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社
本社・関東営業部

⑨ 北海道営業部

⑩ 東北営業部

⑪ 関西営業部

⑫ 中国四国営業部

⑬ 九州営業部

⑥ FSVAP Japan 株式会社
本社・技術センター

FORVIA

HELLA

⑭ ハラージャパン株式会社
本社

エレクトロニクス ライティング

⑮ 広島営業所

私たちの技術

- デジタル & サステイナブルなコックピットエクスペリエンス
- 電動化 & エネルギー管理
- 安全 & 自動運転



フォルクシアの基本方針は、「あらゆるものをサステナビリティというレンズを通してとらえること、そしてあらゆるものをエンドユーザーの視点で見ること」です。デジタルかつサステイナブルなコックピット体験へのアプローチを通じて、必要不可欠なこの2つの要素を結びつけ、環境への影響を抑えながら快適さと使いやすさを向上させるソリューションを提供します。また、柔軟性、アップグレード可能性、サステナビリティを最大化するモジュール式シートとインテリアの開発も行っており、バイオベースやリサイクルの化合物、フィルム材、繊維といった新素材を使用することで資源の消費を抑制します。これらの素材は、軽量アーキテクチャーやエネルギー最適化された電子機器と組み合わせることで、CO₂ 排出量を大幅に削減できます。また、ドライバーが前方を見ながらメニューを操作することができ、認知負荷を大幅に軽減する機能も提供しています。

Connected cockpit with Faurecia Aptoide	Faurecia
Skyline Immersive display	Faurecia
Floating image projection with AirVision	Faurecia
Combine heating and lighting with COF'Heat	Faurecia
Ultrathin heated surfaces with Thermal Cocoon	Faurecia
Ecorium: sustainable trim materials	Faurecia
NAFLean: sustainable compounds	Faurecia
Auraloop®: sustainable cushioning	Faurecia
LUMI: Seatback-embedded illumination	Faurecia
VIBE®: Tractile seating technology	Faurecia

Digital & Sustainable Cockpit Experiences

今の世の中で唯一変わらないことは、変化することです。
モビリティにおいても、変化のスピードは加速しています。
フォルクシアの戦略は、この変化を受け入れ、推進し、ともに成長することです。
電動化されたコネクテッドモビリティに向けた革新的な移行に伴い、
自動車業界は「デジタル化」と「サステナビリティ」という
2つの重要な市場トレンドの可能性を切り開いていかなければなりません。



スカイライン・ イマーシブ・ディスプレイ

当社の「スカイライン・イマーシブ・ディスプレイ」は、2024年のイノベーションアワードを受賞しました。この次世代のコックピットインターフェースには、LCDスクリーン技術ではなくLEDが使用されており、従来のヘッドアップディスプレイよりも視覚的にダイナミックでありながら価格は手頃であり、各自動車メーカーの車載技術のみでカスタマイズが可能です。必要な情報は、ドライバーの注意散漫を避けるためにフロントガラスの下部に表示されます。また、フローティングウィンドウを通じてユーザーにより、個人に合わせた設定を行うことができます。このデジタルコックピット体験は、機能性や安全性を損なうことなく、自動車メーカーと車両オーナーの両者に柔軟性やカスタマイズ性を提供します。



NAFILean: サステナブルな複合素材

2011年からフォルシアが開発を続けているバイオ複合素材「NAFILean」は、現在までに世界900万台以上の自動車に使用されており、2025年までに1,500万台まで拡張する予定です。現在では、フォルクシアグループ傘下のMATERI'ACT（マテリアクト）社の低炭素化ポートフォリオの一部となっています。2023年には、天然繊維とリサイクル素材を組み合わせた複合素材「NAFILean-R」において、サーキュラーエコノミーとCO₂排出削減をサポートしながら性能を向上させる能力が評価され、欧州自動車部品工業会（CLEPA）が主催するイノベーションアワードを受賞しました。

NAFILean-Rは20%の天然麻繊維と100%再生ポリプロピレンのマトリックスで構成されており、射出成形部品に使用されています。その結果、剛性や耐久性を損なうことなく、業界のベンチマークと比較してCO₂排出量を87%削減することができました。

最新世代のNAFILean Visionは、目に見える部品向けに開発されました。さまざまなバイオマス資源と再生プラスチックを統合したこの製品は、多様な色と質感を提供し、高度な装飾効果とインパクトのある外観を生み出します。

VIBE® : タクタイル型 車両シート技術

当社は、2023年に、自動車用シートの中に身体に感触を伝えるデバイスを搭載するという業界初のイノベーション「VIBE®」に関して、ドイツの大手OEMと契約を締結しました。この生体力学的なソリューションは安全性を高め、先進運転支援システム(ADAS)には、死角、車線変更、速度制限、ドライバーの眠気に対して、触覚フィードバックを通じて警告する機能が備わっています。また、シートのフォーム材から発せられる温かみのある低周波振動により、音楽やエンターテインメントへの没入感の向上、リラクゼーションの促進、エネルギーの高揚が得られます。オーディオハプティックのエキスパートであるAurasens（オーラセンス）社と共同開発されたVIBE®は、2025年末に発売予定です。この技術はドライブ体験に変革をもたらすでしょう。



フォルヴィアは、自動車メーカーによる、車両からの排出ガス削減、大気質規制の遵守、超低排出ガスからゼロエミッションへの移行をサポートします。自動車に対するユーザーのさまざまな要求、地方自治体による規制、自動車メーカーのロードマップ、バッテリーの原材料供給に関する不確実性を考慮すると、すべてに共通するような万能な技術ソリューションは存在せず、将来のモビリティ環境は複合的なパワートレイン技術によって形作られることになるでしょう。

フォルヴィアでは、こういった多様なニーズに応えるため、2,200万台の内燃機関乗用車および小型商用車を無公害化するための超低排出技術、バッテリー電気自動車の性能、航続距離、効率を最適化するための技術ポートフォリオの拡大、貯蔵分配システム、ゼロエミッション水素のための合併会社 Symbio (シンビオ) を通じた燃料電池スタックシステムなど、さまざまなソリューションを提供しています。戦略面では、あらゆるパワートレインにおけるフォルヴィアの提案の妥当性が、幅広い製品ポートフォリオにより裏付けられています。

Powertrain&Electrification 2.0	Faurecia & HELLA
Battery Management System	HELLA
DC/DC Converter	HELLA
Coolant Control Hub	HELLA
High Voltage Powerbox	HELLA
Intelligent Power Distribution Module	HELLA
Conformable Hydrogen Tank	Faurecia
Smart Tank System	Faurecia



水素ソリューション： トラック用タンク

フォルシアの水素ソリューション部門は先駆的であり、水素モビリティと水素輸送・流通という2つの主要パーチャル分野をターゲットとしています。トラック用に特別に開発されたXLタイプIV複合貯蔵タンクは、大型貨物車の水素モビリティを飛躍的に向上させます。70Mpaで加圧されたタイプIVタンクは、35Mpaのタンクよりも貯蔵容量が最大80%増加し、サイドタンク式トラックへの搭載とベルトによる装着が可能です。これにより、車両の自律性が大幅に向上し、この分野におけるフォルヴィアの市場リーダーへの道が開かれます。欧州自動車部品工業会 (CLEPA) が主催する2023年のイノベーションアワードで認められたことも当然といえるでしょう。

Electrification & Energy Management



フォルヴィアは、照明、センサー、知覚ソフトウェア、アクチュエーションにおける業界最先端の専門技術を通じて、車内外のソリューションを提供しています。これらのソリューションは、車両ユーザーにとってより安全な運転環境を実現する上で、すでに重要な役割を果たしています。フォルヴィアのイノベーションには、レーダーおよびカメラソリューション、最高クラスのセンサー、インテリジェント照明、車内モニタリング、電子ミラー、パイワイヤ技術などがあり、機械的なシステムに代わって自動運転化を推進しています。私たちは、安全性を重視したソリューションに注力し、未来の自動運転と自律走行モビリティ・モードに対する社会的信頼の構築に貢献しています。



eMirror Safe UX

フォルヴィアによる最新世代の eMirror Safe UX ソフトウェアプラットフォームは、2024年のイノベーションアワードを受賞し、EUおよび中国から規格の認証を取得しました（中国で初めて認証された電子ミラーです）。このプラットフォームは、サイドミラーおよびバックミラーをカメラの付いたシステムに置き換えることでドライバーの視界が確保され、視認性が高まり、安全警告機能が利用できるようになり、燃料およびエネルギー効率の向上をもたらします。「トランスペアレント・ビュー」、「リアクティブ・デミング」、「アドバンスド・イメージ・プロセッシング」といった機能は、ドライバーの視野を拡張し、悪条件下での視認性を向上させるソフトウェア機能です。

Front/Rear Phygital Shields	HELLA
Dynamic lighting with FlatLight I μMX	HELLA
HD lighting with SSL technology	HELLA
Traffic Rules Engine	HELLA
See through your vehicle with eMirror Safe UX	Faurecia
Radar portfolio for powerful 360° coverage	HELLA
Smart Car Access System	HELLA
Driver Monitoring System	Faurecia
Activating interior surfaces with Light Tile Technology	Faurecia



内装システムの アクティブ化

フォルヴィアは、安全性と美観を目的として車両の内装を「アクティブ」にすることで、フィジカルとデジタルを融合させた「フィジカル」コックピットを作り出す革新的な取り組みを行っています。その一例が、2024年のCES イノベーションアワードを受賞した Light Tile 技術です。透明なライトタイルがドアパネル上部に見事に適合し、車外環境の情報を表示する高品質ディスプレイ機能により、潜在的な危険を検知します。ADASとしての役割に加え、このタイル技術はダイナミックなアンビエント・サーフェス・ライティングにも使用でき、車内の独特な雰囲気演出します。

Safe & Automated Driving

フォルヴィア 2023年 サステナビリティ パフォーマンス

本誌の発行日現在、フォルシアはハラー株式の80%以上を所有しており、両社によりフォルヴィアグループが構成されています。フォルヴィアグループのデータの統合は一部のトピックについて進行中です。以下の点にご留意ください：

- ・2023年5月末、Faurecia SE（欧州企業）はFORVIA SEに社名変更しました。「FORVIA SE」という用語が使用されている場合は、旧Faurecia SE 事業体の範囲を指します。
- ・「FORVIA」という用語が使われる場合、それはFORVIA SEとHELLAを合わせた範囲を指します。

Governance (1)

多様性のある国際的かつ多角的な取締役会

年4回

持続可能な変革イニシアチブに関する経営委員会会議



83%

独立取締役の割合

14名

取締役
従業員代表2名、
女性5名(42%)を含む

1

「ガバナンス/指名/
サステナビリティ」
委員会

2件

報酬に関連した
ESG基準
(ジェンダーダイバーシティ
およびCO₂排出量)

Planet

0.69

CO₂排出量 スコープ1
および2
(単位: MtCO₂eq)

13.5

CO₂排出量 スコープ3
(単位: MtCO₂eq)
(販売製品の使用フェーズを除く)

8.9

廃棄物発生量原単位
(単位: 廃棄トン/売上100万ユーロ)



26

CO₂排出量原単位
(単位: tCO₂eqスコープ1および2/
売上100万ユーロ)

120.3

水使用量原単位
(単位: m³/売上100万ユーロ)

24.9%

グリーン分類法に沿った
収益の割合

Business

97%

対象従業員のうち
倫理規定の研修を受講した割合

2.70件

労働時間100万時間あたりの
休業・不休労働災害発生件数 (FR1t)

84% (2)

CSRパフォーマンスを評価する直接購買量
の割合

45/100

EcoVadisが評価するサプライヤーの
最低得点



People

27% (1)

上層部300名のリーダーにおける
女性の割合

28.6%

女性の管理職および専門職の割合

26.9時間 (1)

従業員一人あたりの研修時間




(1) FORVIA SEのデータ(HELLAを除く)

(2) HELLA/パネルの上位サプライヤー200社を含むFORVIAの範囲

サステナビリティへの取り組み

2045年 CO₂ ネットゼロ

2030年 **-45% CO₂** スコープ3
MATERI'ACT 
スコープ3向けに策定

2025年 CO₂ ニュートラル
スコープ 1 & 2

サステナブルな社会のために各分野の施策を加速

自動車関連企業初

当社のネットゼロ目標が「科学的根拠に基づく排出削減目標：SBTイニシアチブ」より承認される

4,800人の

管理職*の短期報酬指標にCO₂ 排出量削減項目を採用

中国・豊城市にフォルヴィアとして
初のネットゼロ工場
を落成
(2023年)

CDPより気候変動に関する
透明性が優れていると
評価を獲得
(2023年)

*FORVIA HELLAを除く

スコープ 1 & 2
2025年までにカーボンニュートラル
達成 2023年時点の目標を

1年前倒し

エネルギー効率

2019年比で **26%** 向上
(2023年)

2020年以來
フォルヴィアファンデーションの
各国支援活動に

8,000人が参加

2030年までに
スコープ3の排出量を

45%削減
designed for **SCOPE 3**

MATERI'ACT 
本格稼働
(2023年)

フランス・アレンジョワ工場の落成、
フランスの工業用地として、

BREEAM 認証で
エクセレント評価を
初めて取得

FORVIA再生可能エネルギー
(太陽光+風力)、

2024年に最大 **700GWh**へ

2030年

35%

女性管理職・専門職の割合

30%

トップ300名の女性の割合

社会的責任

社会への貢献

私たちは、従業員、お客様、ステークホルダーの方々、地域コミュニティなど、「人」を活動の中心に据えています。つまり、モビリティとは単なる移動手段ではなく生活手段そのものです。私たちの最大の財産はチームであり、そのチームの卓越性と多様性こそが、世界のテクノロジーリーダーとしてのフォルヴィアの強みとなっています。

学び続ける組織



フォルヴィアの中核事業は急速な変化に直面しています。当社は、学習、専門職間の流動性、OJTを通じて、従業員が生涯を通じて働き続けることができるように努めています。これは、すべての人が技術の進化、イノベーション、そして変化する働き方の恩恵を受けるための最善の方法であると同時に、変化や課題に対する備えでもあります。

ダイバーシティ & インクルージョン



フォルヴィアの強みのひとつである多様性は、フォルヴィアで働く人々のモチベーションの源泉であり、フォルヴィアの業績にも好影響をもたらしています。また、働く人々が多様かつ包括的であることで、自分がおかれた環境に対する理解を深め、イノベーションの重要な触媒として機能するため、私たちの変革の基本的な原動力となっています。フォルヴィアは多様性を他にはない価値として推進し、包括性のために行動し、あらゆる種類の差別と闘います。

多様性とは、人々の出身、宗教、性別、障がいの有無・区分、性的指向、能力開発機会の多少など、さまざまな違いを含む多角的な概念です。多様性はすでにフォルヴィアの文化およびアイデンティティの一部であり、140か国におよぶさまざまな国籍や経験を持つ従業員がフォルヴィアの成功の原動力となっています。そして、業績と可能性に基づき、あらゆる形態の多様性が真に価値の源泉とみなされ、すべての人に平等な機会が提供される、包括的な文化の創造に取り組んでいます。

各地域における社会貢献活動



フォルヴィアは世界各地で事業を展開しており、それぞれの地域におけるコミュニティに属しています。当社は、地域の経済発展と社会的価値の創造に貢献して、各地域において事業が調和的に統合されるよう、近隣の地域コミュニティとの率直かつ継続的な対話を続ける責任を負っています。

また、地域のニーズに応えるさまざまなプロジェクトやプログラムの立ち上げや協力をを行い、活動支援のために専門知識やリソースを提供することで、地域コミュニティへの関わりを強化をめざしています。当社の社会的関与は、従業員やフォルヴィア財団が主導する地域経済開発および地域社会貢献活動が基盤となっています。

フォルシア・ジャパン株式会社

■ 本社・R&Dセンター

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク イーストタワー 5F
電話 045(345)6700

厚木カスタマーオフィス

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-24-13
第一伊藤ビル 8F
電話 046(226)8150

郡山工場(クリーンモビリティ)

〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋下夕川原50

フォルシア・ニッパツ株式会社

〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町3-56-1
KDX 横浜関内ビル3F
電話 045(345)3001

フォルシア豊和インテリア株式会社

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町1-24-13
第一伊藤ビル 8F
電話 046(226)8150

フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社

■ 本社・技術センター

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
電話 048(601)3700

東北事業所

〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋下夕川原50
電話 024(944)1111

浜松営業所

〒430-0926 静岡県浜松市中区砂山町355-4
ハマキョウレックス浜松駅南ビル 3F
電話 053(541)7656

名古屋営業所

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5-4-14
花車ビル北館 2F
電話 052(588)2592

クラリオンライフサイクルソリューションズ株式会社

■ 本社・関東営業部

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
本社：電話 048(601)3670
関東営業部：048(601)3674

北海道営業部

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西16-1
テルウェル札幌第2ビル 5F
電話 011(611)1570

東北営業部

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡5-1-35
三共仙台東ビル 302
電話 022(292)8181

関西営業部

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町12-14
電話 06(4861)0100

中国四国営業部

〒733-0035 広島県広島市西区南観音7-6-28
電話 082(532)6010

九州営業部

〒813-0062 福岡県福岡市東区松島5-25-19
電話 092(622)6161

FSVAP Japan 株式会社

■ 本社・技術センター

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7-2
電話 048(601)3470

